

美郷町役場でも

9月30日まで実施しています

環境省提唱の「クールビズ」

ISO14001を推進している本町では、地球温暖化防止と冷房設備の省エネ対策などの観点から、環境省が提唱している上着なし、ノーネクタイの「クールビズ」(夏のビジネス軽装)を7月1日から9月30日までの3カ月間実施しています。

なお、実施にあたっては、公式の行事や会議に出席する場合などは状況に応じた服装に配慮するとともに、名札の着用を徹底するなど、来客者等に場違いな感じや不快感を与えることのないように努めています。

◎「クールビズ」とは

温室効果ガス削減のために、夏のエアコンの温度設定を28℃に。そんなオフィスで快適に過ごすために、環境省では夏のノーネクタイ・ノー上着ファッションを提唱しました。その名称を公募、決定したのが「COOL BIZ(クールビズ)」です。「ビズ」はビジネスの意味で、夏を涼しく過ごすための、新しいビジネススタイルという意味が込められています。

(「環境省ホームページ」より)



▲上着なし、ノーネクタイで仕事をする町職員

議会 臨時会

町農業委員会の 議会推薦委員二人の 推薦に同意

平成十七年度第五回町議会臨時会が七月十四日、千畑庁舎で開かれしました。

今回の臨時会では、平成十七年度美郷町一般会計補正予算第二号及び平成十七年度美郷町老人保健特別会計補正予算第一号の二件について審議が行われ、いずれも原案のとおり可決されました。

また、美郷町農業委員会委員の推薦についても審議が行われ、三人の方を議会推薦の委員として推薦することにしました。

【可決された議案】

●平成十七年度美郷町一般会計補正予算第二号について

歳入歳出それぞれ九百七十四万二千円を追加し、補正後の予算総額を百十八億二千四百二十五千円としました。

その内容は、福祉医療制度の改正に伴う電算処理システムの変更委託

料(百七十四万三千円)、並びに老人保健特別会計への繰出金(七百九十九万九千円)です。

●平成十七年度美郷町老人保健特別会計補正予算第一号について

歳入歳出それぞれ一千二百七十万五千円を追加し、補正後の予算総額を二十五億八千七百四十六万五千円としました。

その内容は、平成十六年度老人医療費が当初見込より低減したことに伴い、秋田県並びに診療報酬支払基金に交付金を返還するための償還金(一千二百七十万五千円)です。

●美郷町農業委員会委員の推薦について

町農業委員会への議会推薦の委員として、次の三人の方を推薦することにしました。(敬称略)

- ・高橋 順子(美郷町金沢東根)
- ・吉方 和衛(美郷町金沢西根)
- ・田口 榮子(美郷町六郷東根)

あなたの「声」
を町長に直接
伝えませんか

8月のふれあい談話室

期 日	時 間	場 所
8月9日(火)	午後5時～ 午後6時30分	役場仙南庁舎2階 応接室(元村長室)
8月10日(水)		役場六郷庁舎2階 町長室
8月11日(木)		役場千畑庁舎1階 応接室(元町長室)

町長が各庁舎に出向き、来庁された町民の皆さんから町政へのご意見やご要望を直接お伺いします。

個人でも団体でも、どんなささいなことでも構いませんので、お気軽にお立ち寄りいただき、町長へ直接お話しください。



役場(六郷庁舎)町長公室 秘書広報班 ☎84-4900(内線1226)

町長が週1日
役場千畑庁舎
と仙南庁舎で
執務

移動町長室

曜 日	時 間	場 所
毎週火曜日	午前9時～ 午後3時	役場仙南庁舎
毎週木曜日		役場千畑庁舎

町長が毎週1日、役場千畑庁舎と仙南庁舎で執務していますので、ご用のある方はお立ち寄りください。

なお、会議への出席などにより、不在の場合や実施できない場合があります。

風

美郷町長 松田 知己



「子供たちの夏、合併の夏」

日差しも気温もやや控えめだった梅雨が過ぎ、夏真っ盛りとなりました。体の内に外に冷たい「水」が欲しいところでした。

さて、子供たちは待ち焦がれた夏休みに入りました。自分を振り返ると、ある時はプールの河童になり、ある時はカブトムシ探検家になり、日頃できなかったことを存分に遊んだ記憶が蘇ってきます。特に友達と賑やかに遊んだ思い出は鮮明なような気がします。

現在は少子化が進み、隣近所にもなかなか遊び相手がない残念な状況ですが、夏休みなど長期の休みにはほとんど遊んでもらいたいところです。そのことがきくと大人に成長する過程において深い意義を持ち、更に大人になってからは、親の立場

として子供の気持ちを理解できる一つの基準になるものと思います。

そこで町では、子供たちの夏休みの思い出づくり、居場所づくりとして、そして子供版の合併記念行事の一つとして、この夏「こどもワクワクサマースクール」を開催することにしました。七月二十五日から八月五日までの間、歴史、芸術文化、スポーツなどの分野で、町内の方々からご協力をいただき実施しております。地域間交流といった側面、場合によっては夏休みの宿題対応にもなるかも知れません。この記事が出る頃には中盤になっている訳ですが、どんどん参加していただき、町内の子供たちが地域や学年を超えて、交流してもらいたいと思います。

一期一会いちごいちえという言葉があります。茶会の心得だそうですが、二度と巡ってこない平成十七年のこの夏、子供たちには何か一生の記憶に残る思い出をつくってもらいたい。その思い出が「合併の夏」であったことも記憶してもらいたい。そんな一期一会に、このサマースクールが機会となるなら、どうか活用してもらいたいと願っているところです。

よし、この原稿を書き上げたら、私は冷たくい泡の出る美味しい水を飲もう！一期一会のつもりで・・・

写真

6月24日に開かれた行政座談会で、参加者の質問に耳を傾ける松田町長(写真中央)